

# 憲法フェスティバルの準備進む！！

## 水戸駅周辺で宣伝行動をおこなう



2013年憲法フェスティバルは、例年同様、5月3日（金）の憲法記念日に、10時30分から、水戸市千波公園 はなみずき広場で開催されます。

4月6日（土）、実行委員会に結集した団体が、水戸市内で宣伝・要請行動をおこないました。午前中は水戸駅と茨城大学を中心とした地域に、チラシ配布とポスター貼付をお願いしました。参加者17人は5班に分かれ、店には「飛び込み状態」の要請行動でしたが、心よく引き受けてくれる店が多く、各班でポスター25枚、チラシ100枚を2時間ほどで終了しました。平和委員会から川又さん（なか）、人見さん（ひたちなか）、小林さん（内原・友部）、木村（事務局）が参加し、水戸駅南側の商店街を担当対しました。ほとんどが全国チェーンの店で、地元の業者の営業はほんのわずかでした。また廃業したと思われる店も増えているように思われました。

午後は水戸駅南口に集まり、途中から駆け付けた人たちを含め20人ほどで、署名、チラシ配布、拡声器による訴えを行いました。チラシは高校生の受取りも多く、予定した枚数が1時間ほどでなくなりました。

去年は、初夏の嵐に襲われ、土砂降りの中で開幕しました。広場は水に溢れ、田んぼのような状態でした。そんな中でも500人以上の参加がありました。幸いなことに途中から風雨も弱まり、福島大学から駆け付けた清水修二先生の感動的な講演で、参加者一同大きな力を得ました。

今年度は「一このまま進んで大丈夫？ 私たちのいのち・くらしー」のテーマで開催されますが、各平和の会・平和委員会では、個人賛同者（1口：1000円）、団体賛同者（1口：3000円）を募り、当日はバスの準備を行うなど、大勢で元気に参加しましょう。

## 5.3憲法フェスティバルへの多数の参加・賛同を！

各平和の会に要請いたします。

” 茨城県平和委員会代表理事会 ”

	参加者数	個人賛同		参加者数	個人賛同		参加者数	個人賛同
北茨城	5	5	内原・友部	15	20	茎崎	5	5
美和・緒川	15	10	笠西	10	10	竜ヶ崎	5	10
日立	10	5	鹿行	20	20	美浦	5	5
太田	15	10	潮来市役所	10	10	ふじしろ	10	10
おおみや	10	10	池貝	3	3	取手	5	10
東海	15	10	石岡	20	15	筑西	10	10
ひたちなか	10	5	百里	5	5	結城	10	10
那珂	15	10	土浦	15	15	さかい	3	5
水戸西	20	10	阿見	10	10	古河・総和	5	5
水戸南	5	5	つくば	5	5	五霞	5	5
花だいこん	5	10	守谷	5	5	点在	10	10
はばたき	5	10	つくばみらい	5	5	合計	326	308

### 常任理事会・理事会

#### および定期大会のお知らせ

（役員にはそのつど連絡します。）

#### ★ 第6回 常任理事会

と き 2013年5月19日（日）

午後 1時 ～

ところ ミオス（水戸市福祉ボランティア会館）

電話：029-309-5001

水戸市赤塚1-1（JR駅北口すぐ）

#### ★ 第4回 理事会

と き 2013年 6月 2日（日）

午後 1時 ～

ところ グリーンパレス石岡

石岡市茨城3-16-20

0299-23-2045

#### ★ 県平和委員会 定期大会

と き 2013年 6月16日（日）

午前 10時 ～（9時30分受付開始）

ところ グリーンパレス石岡

石岡市茨城3-16-20

0299-23-2045

※ なお、大会案内状は理事会終了後に発送します。  
各平和の会・平和委員会は、役員を選任を進めましょう。

### 平和新聞

2013年4月15日（月曜日）

2014号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

### 平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 652

2013/4/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



# 4・28沖縄デー 「切り捨て」の発想改めよ



1952年4月28日、サンフランシスコ講和条約が発効した。沖縄、奄美、大東を含む南西諸島は日本から切り離され、米国の統治下に置かれた。沖縄が切り捨てられた「屈辱の日」として忘れてはならない。

太平洋戦争で沖縄は本土防衛の「捨て石」とされた。日本で唯一おびただしい数の住民を巻き込んだ地上戦が行われ、20万人余が犠牲になった。このうち約9万4千人は沖縄の一般住民で、軍人の死者よりはるかに多い

国民を守るはずの日本軍は、しばしば住民を避難壕から無理やり追い出し、食料を奪った。中にはスパイの嫌疑をかけられ殺害された人や、集団自決（強制集団死）に追い込まれた人々もいる。米軍は沖縄占領後、嘉手納飛行場や普天間飛行場を整備。戦後も住民の大切な土地を銃剣とブルドーザーによって強制的に接収し、広大な基地建設を推し進めた。日本は、サンフランシスコ講和条約によって主権を回復する一方で、沖縄統治を米国に

2010年4月28日 琉球新報社説より

委ねた。

「捨て石」にされた上、米国の施政権の下に置かれた沖縄住民は日本にとって一体何だったのか。

米軍は沖縄の自治権を抑圧し、68年に屋良朝苗氏が選挙によって主席に就任するまで、全琉球住民の代表者を自身の手で選ぶ権利さえ認めなかった。

72年に念願の日本復帰は実現したものの、広大な米軍基地が沖縄に残った。現在も全国の米軍専用施設面積の約74%が集中する。沖縄本島の実に18.4%は米軍基地だ。在日米軍兵力の規模を見ても総員約3万6千人のうち7割近くが沖縄に駐留している。

県民は米軍基地から派生する事件・事故に脅かされ、基地周辺住民は騒音被害に苦しんでいる。返還が取りざたされる普天間飛行場の移設先に挙がっているのは本土ではなく、沖縄県内や徳之島（鹿児島県）だ。

基地を辺境の地域に押し付けることで日米安全保障体制の維持を図り、安寧を保つという考え方は、本土防衛のために沖縄を「捨て石」にした発想と大差ない。国会論戦などを見ていると、普天間移設は完全に政争の具と化している。政治家は過度の米軍基地が集中するに至った沖縄の歴史を学び、「切り捨て」「押し付け」の構図を改めてもらいたい。

## [シリーズ] わが街・わが会員

潮来市／橋本 和男さん（鹿行平和委員会）

平和憲法のもと、日本人は戦争で1人も殺していない



平和委員会は、職場の友人に誘われて入会した。定年前後だったから20年前くらいだ。「戦争は絶対反対」という気持ちで、平和委員会が取り組んでいる集会や学習会には欠かさず参加している。安倍総理は「憲法を変える」というが現在の平和憲法が断然いい。明治憲法のもとで、アジアでは2000万人、日本人は310万人以上も殺されている。1945年に第二次世界大戦が終了した。65年経過した2010年まで、世界で225件の戦争や内戦などの紛争があり、2250万人の尊い生命が犠牲になっているという。「憲法を変える」というのはこのような状態になることだと思う。

現在の平和憲法になってから、日本人は戦争で1人も殺していないし、殺されてもいない。この平和憲法をなくすなんてとんでもない。しかも明治憲法と同じように国民主権を奪うなどはさらに許されない。

早朝にテレビやラジオを聴くことが多い。今度の北関東大震災でスリランカ近くの小さな国から100万円の支援があった。この国の1ヶ月の平均収入は2000円～3000円だという。平均年収の40年分余になる。全体では140ヶ国から支援があったという。このような中で、日本を「戦争ができる国にする」などは許されない。この憲法を変えずに守って行きたいと願っている。

### 全国各地で反原発のおおくの運動が継続！！



### 取手平和委員会・ふじしろ平和の会

県南地域の平和委員会の連絡会最初の学習会

### 2013・4・27 内藤弁護士を囲む学習会

日時：2013年4月27日（土）13：30より

場所：取手市ゆうあいプラザ 3階 301会議室

資料代：300円

内容：① 内藤弁護士 講演（問題提起）60分

② 質疑応答 60分

その他：内藤功さんに聞きたいことを事前に提出してください。

内藤さんの著書を読みたい人は連絡ください。

\*（駐車場が少ないので乗り合わせ、バス等をご利用ください。）



### 「村上村長を支え原発ゼロをすすめる会」編

首都圏で一千万人の避難はできない！

### 東海第二原発を廃炉に

臨界事故で住民避難を決行し、いま、東海第二原発の廃炉を決断した東海村の村上達也村長の「講演」より

定価：571円+税

頒価：500円

県平和委員会で購入しています。